

令和7年12月分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

令和7年12月分について、輸出は「自動車の部分品」、「ポンプ及び遠心分離機」などが減少したものの、「半導体等電子部品」、「電気計測機器」、「原動機」などが増加したことから対前年同月比20.0%の増加となった。また、輸入は「医薬品」、「魚介類及び同調製品」などが減少したものの、「有機化合物」、「原動機」、「半導体等電子部品」などが増加したことから、同35.1%の増加となった。

その結果、差引額は43億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	1,507億円	+20.0%	1,549億円	+35.1%	▲43億円	—
	5カ月連続の増加		31カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率		
輸出	増加品目	(1) 半導体等電子部品	168億円	+47.5%	輸入	増加品目	(1) 有機化合物	214億円	19倍		
		(2) 電気計測機器	91億円	+19.6%			(2) 原動機	349億円	+41.3%		
		(3) 原動機	104億円	+13.5%			(3) 半導体等電子部品	219億円	+34.6%		
	減少品目	(1) 自動車の部分品	18億円	▲65.5%		減少品目	(1) 医薬品	36億円	▲49.4%		
		(2) ポンプ及び遠心分離機	11億円	▲42.5%			(2) 魚介類及び同調製品	7億円	▲62.8%		
		(3) 事務用機器	17億円	▲31.0%			(3) 科学光学機器	34億円	▲15.5%		
	主要地域 増減	アジア、アメリカ、EUが増加				主要地域 増減	EU、アメリカ、アジアが増加				

（参考）ドルレートは、155.86円（前年同月比2.2%、3.38円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。